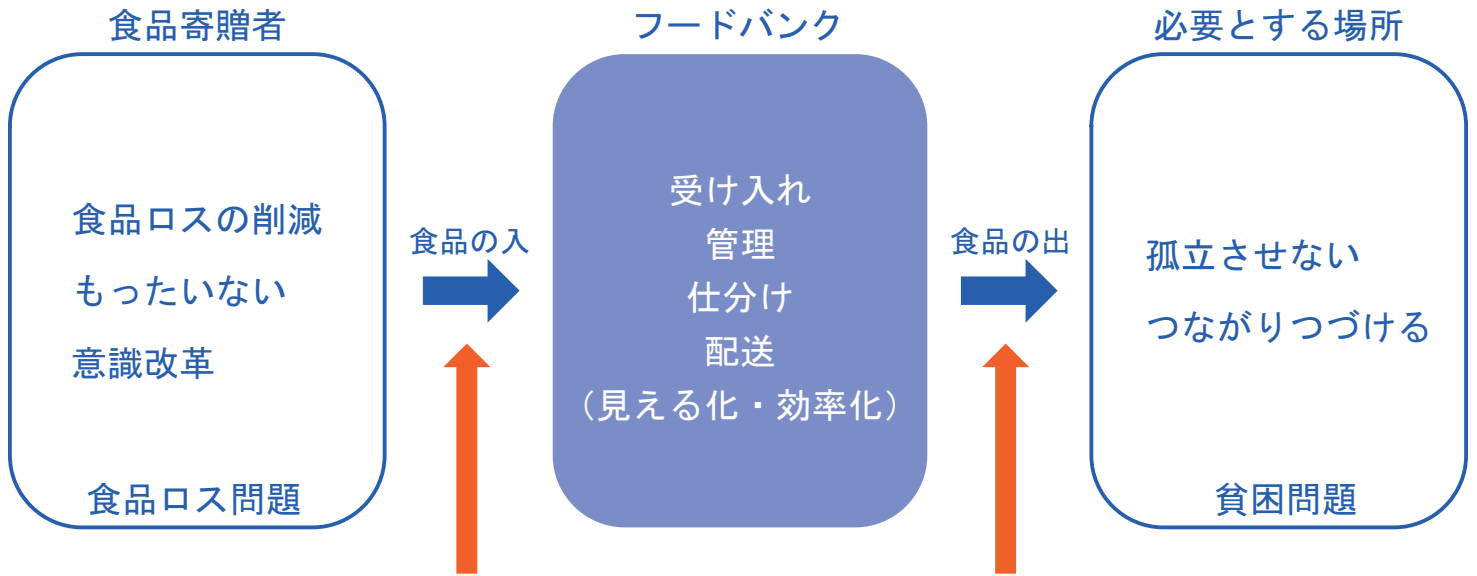


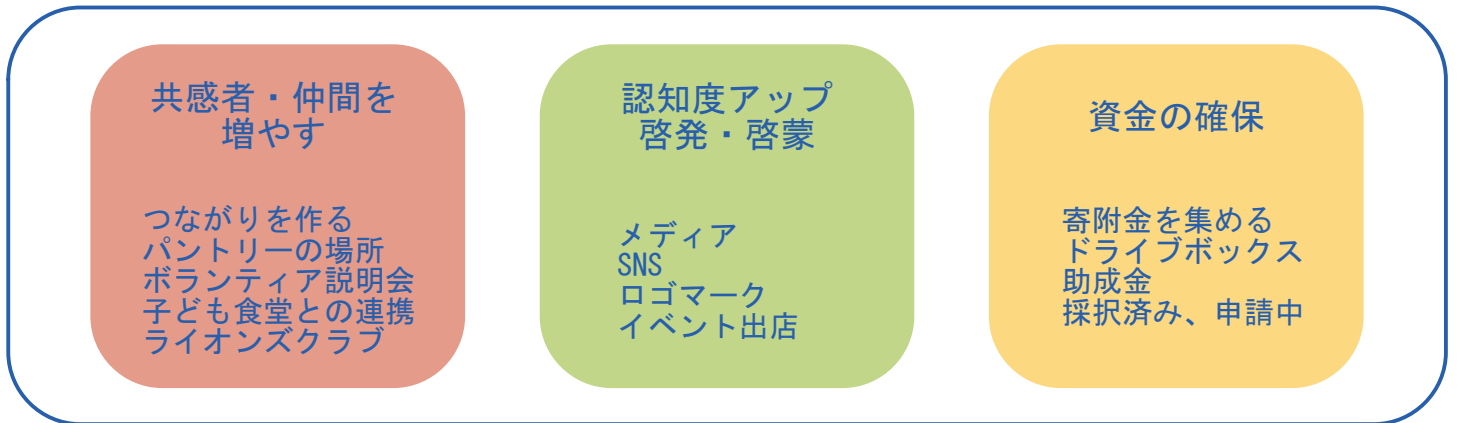
いちかわ
フードバンク
by フリスタ



特定非営利活動法人フリースタイル市川
野口 淳

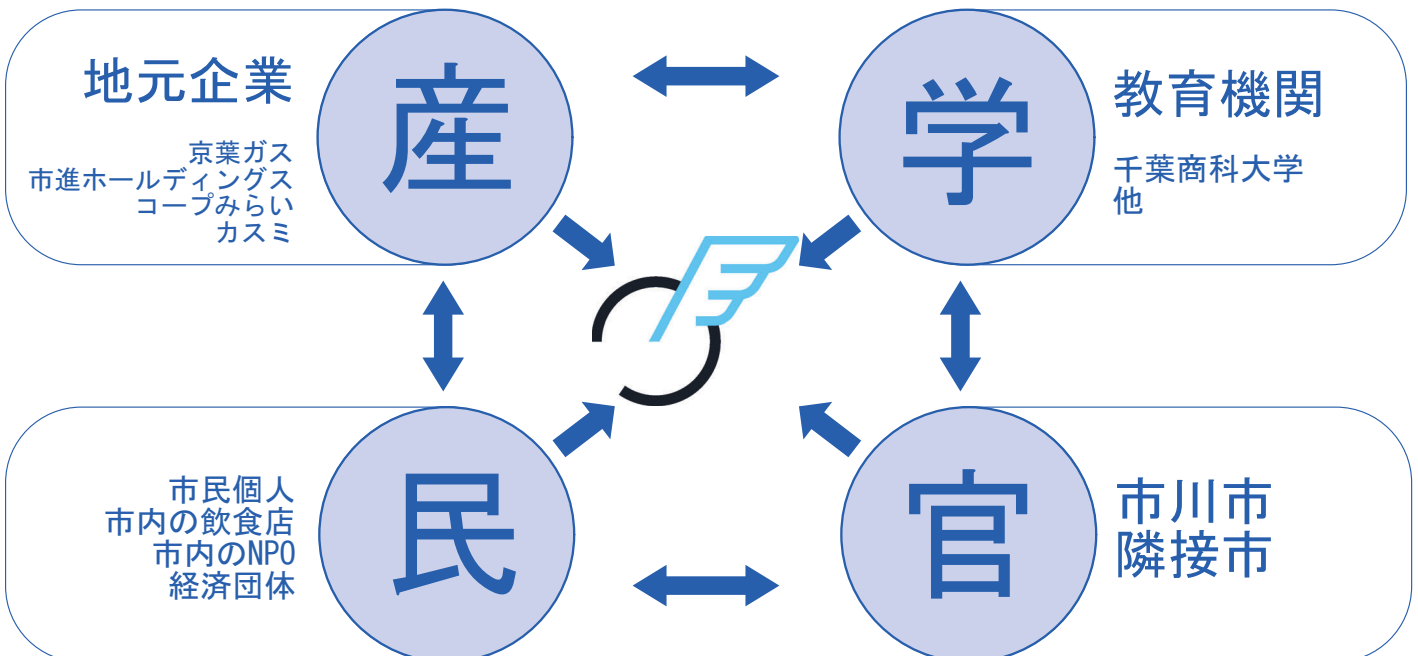


食品の入と出を大きくして、その管理を充実させるために必要なこと



地域の課題と向き合う「地域活動」

フードバンク事業を通して市民や団体や企業や行政が網目のようにつながる「地域」を作ることが目標



共感者・仲間を増やす

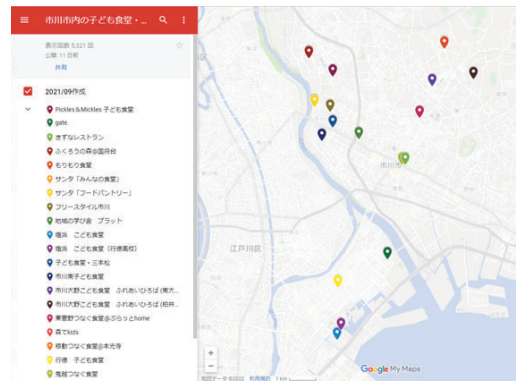
千葉商科大学様

今回の助成プロジェクトの担当教員である小口先生のご尽力で学生チームが大学内でフードパントリーを2回開催しました



市川市内の子ども食堂の運営団体、困窮者支援団体との連携

市川市内にある子ども食堂やフードパントリーを行っている団体や福祉支援団体と連携して食品を融通しあっています



市川市こども家庭支援課との連携

赤い羽根の助成金を活用して購入した生理用品を市川市のこども家庭支援課の窓口でひとり親家庭に配布していただき、その際に子ども食堂などの情報をパンフレットを渡して伝えていただきました
また「つながっていない」方たちとつながるためです



ライオンズクラブ様との連携

フードバンクでの地域のつながりを利用してライオンズクラブ様が必要としていた子ども食堂とのつなぎ役としてお手伝いしました



共感者・仲間を増やす

京葉ガス株式会社様

社屋にある災害時のための備蓄品の入替えの際にまだ賞味期限が残っている食品と水を約4400食分提供いただき、県内のフードバンクなどの団体と分け合いました



コープみらい様

ご家庭で余った食品を持ち寄るフードドライブ。その回収ボックスを設置させていただき取り組みをはじめました
写真はプレス発表会でのもの



株式会社市進ホールディングス様

食品の無料配布会（フードパントリー）ではたくさんの方に食品が届くために配布会場を市内で3箇所用意しています
そのうちの1箇所である「大人の学び舎 大黒家」のスペースを提供いただいています



他地域のフードバンクとの連携

同じ思いを持って活動している県内のフードバンクと相互に食品を分け合ったり情報共有を行っています



認知度アップ/啓発・啓蒙

千葉商科大学での講義

これまでに数回にわたり千葉商科大学様の授業に特別講師として呼んでいただきました。
また、雑誌「ソーシャル」の記事の対象として取材をしていただきました



リーフレットの作成

昨年度に採択いただいた地域志向活動助成金を活用してフードバンク活動を広く知ってもらうためのリーフレットを作成しました
市内の人の集まる場所に設置しています



学生チームがいちカイギで発表

フリースタイル市川が定期開催している「いちカイギ」にCUCパントリーの学生4名が登壇してCUCパントリーについて発表しました



認知度アップ/啓発・啓蒙

ロゴマークの制作

たくさんの方にフードバンク活動を知ってもらい、問題に興味を持ってもらうために、目を引くロゴマークをデザイナーに依頼して制作しました



イベントへの積極的な出店、PR活動

市川市内で沢山の人が集まるイベントなどに参加することで、フードバンク活動のPRをしました
また、フードドライブを同時開催して食品をたくさん集めました



メディアへの掲載

- ちいき新聞 2021年7月9日
- 市川よみうり 2021年7月17日
- 千葉日報 2021年9月7日
- いちかわ新聞 2021年9月3日
- 千葉日報 2021年12月26日
- 他



ウェブページ、SNSなどの発信

当法人の公式ウェブサイトでは活動の報告等をオウンドメディアのように頻繁に発信しています
フードバンク活動についても詳細に記載しています
また、たくさんのつながりをつくるためにSNSでの発信にも力を入れています



資金の確保

寄附金サイトの立ち上げ

「自分でできることから始める」フードバンクへの関わり方として、時間を使った支援（ボランティア）食品の寄贈と共に、お金を寄付も「関わり方」の一つとして案内して、寄付を募っています



助成金・補助金の活用

- 地域志向活動助成金（千葉商科大学様）
- 赤い羽根全国キャンペーン
- 暮らしと地域づくり助成（コープみらい様）
申請中
- いちサポ補助金

CUC 千葉商科大学
The University of Chiba

地域志向活動助成金制度

2021年度募集のご案内

あなたの活動を千葉商科大学がサポートします！

フードドライブボックスの設置

食品を集めるための方法としてフードドライブボックスの設置を進めています
現在、コープ市川店様では実施済み
京葉ガス「てらす」様と設置を合意しました



チャリティーショップ・チャリティーバザーの開催

フードパントリー開催日などに、寄附で集まった日用品などを並べて「チャリティーショップ」を開催して地域の皆さんへの啓発と資金集めをしています。



食品の受取り、管理、仕分け、配送

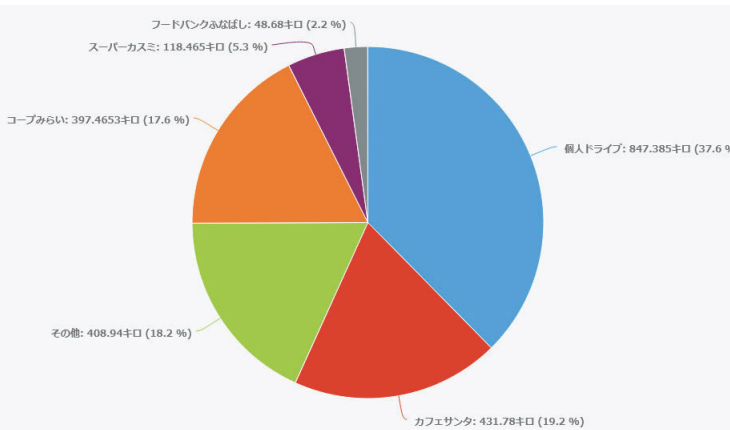
倉庫の管理

NPOの拠点であるアンカー市川の1階のスペースを使って食品の倉庫をつくっています
集まった食品をボランティアとして手伝っていただいているスタッフが仕分けをしています

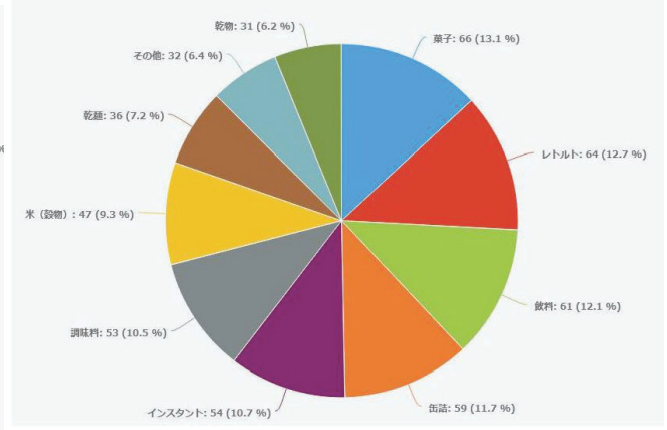


入庫、出庫、仕分け作業の効率化、見える化

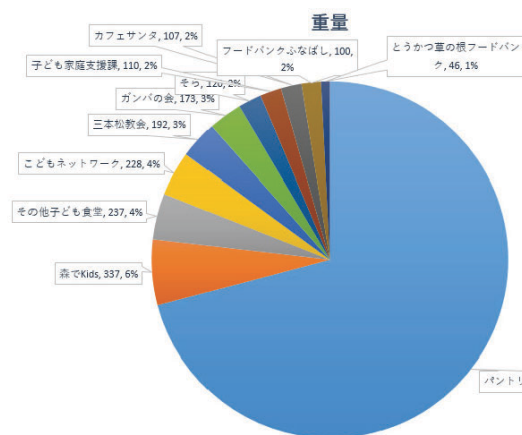
実際に食品を動かしていくための管理体制をできる限り効率化して、経費がかからない持続可能な活動を目指しています
そのため、IT等を利用して在庫の管理をするとともに、活動の見える化を進めています



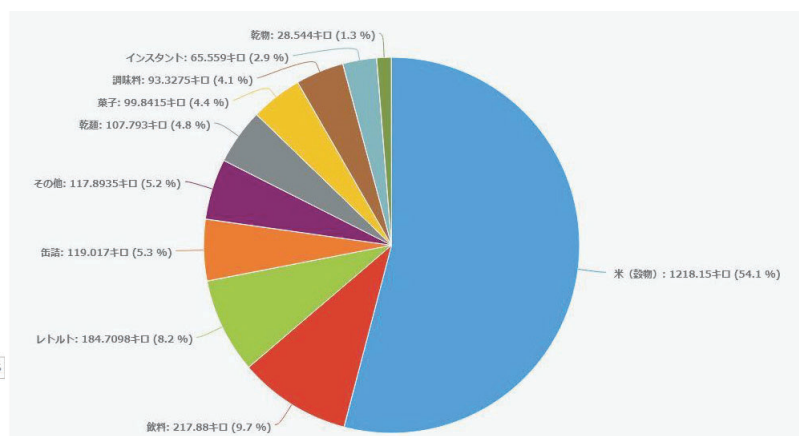
どこから入ってきているか (重量)



どんな食品が入ってきているか (件数)



どこに提供しているか (重量)



どんな食品が入ってきているか (重量)

共感者・仲間を増やす

- ・ 地域の食品メーカーや販売店、公共施設との連携を拡大する
(ドライブボックスの設置)
- ・ 企業CSRへ訴求するプロポーザルを準備する
- ・ シンポジウムを開催する
- ・ 関連問題を扱った映画上映会を開催する
- ・ 地元飲食店を巻き込んだ、地域通貨の企画をする
- ・ 子ども食堂やパントリーの新規立ち上げ支援プログラムを構築する
- ・ 空き家など倉庫の提供者を公募する
- ・ 食にまつわる活動をしている人を仲間にする作戦を考える

認知度アップ/啓発・啓蒙

- ・ 情報ポータルとしてのコンテンツを拡充/発信する
(市内の子ども食堂&パントリー団体の活動PRやカレンダー公開など)
- ・ 一元化された各種情報を利用者の手に届けるための仕組み作り
- ・ 防災レシピの立ち上げ
- ・ ニューボロイチやエドロックなど地域イベントへの出店など、一般の方への目線に入るような露出を増やす
- ・ フードバンク紹介動画の作成とフリスタチャンネル、ラジオ等のメディア露出
- ・ 中高年への訴求力を上げるために、紙メディアに掲載してもらうよう働きかける
- ・ 全国ニュースの記事になるような派手なこと(イベントなど)もしてみる

資金の確保

- ・ 寄付金の公募
- ・ 寄付会員の目標人数を定める
- ・ 倉庫や維持費など設備費や燃料費・交通費など運営費を補填するための助成金集め
- ・ チャリティーイベントの開催
- ・ 認定NPOの準備
- ・ WEBサイト、SNSに加え、紙メディアを通じて高齢者への接近を図る
- ・ 寄付会員さんと、意見交換、ディスカッションする場を作る
- ・ お金の寄付だけでなく、時間の寄付にも進出してくれるようにする
- ・ クラウドファンディングの実施

食品の受取り、管理、仕分け、配送

- ・ ボランティア登録・管理・連絡体制の構築をする
- ・ 業務の標準化・DXをする
- ・ ドライブ受け入れ体制や受付時間の定義をする
- ・ タクシー/運送会社との連携を進める
- ・ 配送ボランティアの増強を図る